

旅行の際にカード会社に勧められてクレジットカードを作った。申し込む際、利用限度額の確認はあったが、支払い方法の確認はなかった。後日、届いたクレジットカードの利用明細書を見ると手数料が取られており、初めてリボ払いになっていたことに気が付いた。

(学生 女性)

クレジットカードは、手持ちの現金がなくても買い物ができる便利なものです。一方で、仕組みを理解しないまま使用すると、意図せぬ支払いを負う場合もあり、カードの作成、使用には十分な注意が必要です。

クレジット契約は、買い物をした際にカードを提示して代金をクレジット支払いにすると、カード会社がいったんお店に代金を支払います。後日、カード会社によって、利用者が登録した銀行口座から支払額が引き落とされる仕組みになっています。一般的に、支払い方法を一括払いにすれば手数料はかかりませんが、分割払いやリボルビング払い（リボ払い）にした場合には別途手数料がかかります。

リボ払いとは、毎月1万円などあらかじめ設定した額をカード会社に月々返済していく方法です。買い物を重ねても月々の返済は一定額となるので、支払残高が増えても気づきにくく、毎月手数料がかかるため結果的に支払総額が増えてしまいます。クレジットカードを申し込む際は、初期設定でリボ払いになっていないかをよく確認しましょう。リボ払い専用のクレジットカードもありますので、分からない点はカード会社に説明を求めましょう。

また、「キャッシング」など、お金を借りる機能がついているカードの場合は、無計画にお金を借りないように注意しましょう。

カードの紛失や盗難による不正利用にも気を付けてください。カードの裏面には直筆でサインをし、毎月の利用明細書で、心当たりのない支払いが請求されていないか必ず確認しましょう。不明な点があれば、すぐにカード会社に問い合わせることも大切です。

困ったときには、お住いの自治体の消費生活相談窓口にご相談ください。